

令和4年6月2日

保護者の皆さんへ

しらぎく幼稚園  
園長 東海林 肇

## 園長だより「かけはし」

いつの間にか、初夏の風の吹く季節になりました。日本は、四季がはっきりしていることでそれぞれの季節に応じた美しい風景があります。子どもたちの表情にも四季と同じように様々な表情があり、私たちの心を和ませてくれます。また先日の親子遠足での子どもたちや保護者の皆様の笑顔は、5月のさわやかな青空にとってもよく映え、素敵でした。笑顔はいつ見ても嬉しく心が和みます。間もなく園生活3ヶ月目。子どもたち同士の関わりも増え、楽しく毎日を過ごしている様子がうかがえます。引き続き新型コロナウイルス対策へのご協力をお願いする中ではありますが、気温・湿度共に上がる季節でもあります。この時期から増える暑さ対策のため、どうしても室内での活動が多くなります。園でも、室内の換気や消毒・除菌などの衛生管理の徹底に務めながら、安心して子どもたちが活動できる環境作りをしていきたいと思ひます。また、子どもたちの健康管理には、十分気を付けていきたいと思ひます。引き続きご協力をお願いいたします。



### デジタル時代

ここ近年、小中学生の子ども達の遊びで、ゲームそしてYouTubeが占める割合が高いことはみなさんご存じのことと思ひます。みなさんのご家庭でもいずれ子供たちが大きくなってきた時に、どのように対処していきますか。時間や内容等ルールを一緒に考える時期が近づいています。好きなように使わせていると依存症のようになってしまう子も出てきています。昨年度から本格的に小学校1年生を始め小中学生全員にタブレットが配布されました。教育も本格的なデジタルの時代に突入しました。尾張旭市ではICT支援員による教員の研修を行い、クラスにも一緒に入っただき、アドバイスを聞いてタブレットを使った授業を行っています。学習の理解を進めるための道具として身近なものになりつつあります。1年生の授業では、アサガオの観察に使うため、まずはiPadの使い方を丁寧に学び、その後写真を撮って、記録する方法を学ぶ姿もありました。余分な部分はトリミングもしています。またタブレットを持ち帰り、活用して、画面越しに交流するなどもしています。タブレットの導入は個に応じた学びができ、好奇心を高め、探求心を育むためには大きな力になると思ひます。しかし、経験という言う意味では自分で味わうということができません。そんな時代だからこそリアルな学びの役割も大きいです。幼稚園では、ブランコ・滑り台等遊具を使った遊びを行ったり、土や水・草花等自然とふれあったり、夢中になって遊びに浸る経験を積み重ねることで、遊ぶ楽しさや根気強さ、意欲、自信、他者への思いやり・協調性等、生きていくうえで大切な基礎となる力を身に付けていきます。家庭でも受動的な遊びだけではなく、身の回りの物を使って制作したり、なにかを夢中になって集めたり、家族や友だちとふれあったり自分で考え、創造する能動的遊びができるといいですね。

